

私のすばる 第122号 もくじ

巻頭詩・もくじ 3

天国の色 4

善き人に 5

あて名書き 6、7

先々へ 8、9

春、新たな愛 10

生命 11

スターデザイナー アン

ソニー・ヴァカレロさ

んに 12、13

幼年 14

私の容貌 15

中堂高志さんに捧ぐ 16、

17

花乙女便 18

黄金を 19

亡骸に 20、21

花の威一郎さんに 22

神のとき 23

特別企画「モーツァルト、

愛の微笑み」 24、25、

26、27、28、29、30

申に呼び出され
九歳此の方ー地中の館に
神様のお食事「ホエム」も
ひたすらう創りつづけ
賜り届けた私 だった

今は 心身 着の身
元氣になりたい
元氣の一丈ステージに
ありたい

2016.6.6

題字・谷崎松子（谷崎潤一郎夫人）

紅（表紙）・奥村土生画伯百歳の揮毫 表紙・水上 紅

天国の色

天国の色は 淡い黄金

歓びに沸き立って

天使たちともども 踊りたわむれる

もう 天と同族

この私は抱かれ 招かれて……

ものみな 新鮮

おうちにかえる 今は

ありがとう 幾十年

ファンタジーの深み その色合いのなつかしさ

二〇一六年四月八日

幼年

幼年が あらゆるものを越え

宇宙と生一本でつながっている

生命の躍動が はじめてなされた

嬉嬉とした微笑みを浮かべ

宇宙へと 歓びの采配を贈っている！

幼年神事だ

幼年の生一本

幼年への献上物か 供物か……

二〇一六年三月三日